

# BOUCHERON

PARIS DEPUIS 1858



プレスリリース 2025年 3月

## 第97回アカデミー賞授賞式にて コールマン・ドミンゴ、ミシェル・ヨーらがブシュロンをまとって登場

ロサンゼルスドルビーシアターで開催された第97回アカデミー賞授賞式にて、コールマン・ドミンゴ、ミシェル・ヨーをはじめ、多くのセレブリティがブシュロンのジュエリーを着用して登場しました。

現行のジュエリーだけでなく、アーカイブのプライベートコレクションからも作品を提供。創業当初からメゾンの根底にある「身に着ける人に寄り添うジュエリー」を体現するように、セレブリティたちはスタイリングを楽しみながらジュエリーを纏いました。



コールマン・ドミンゴ ©Getty Images



左から「ファジー レオパードキャット」リング、「セルバンボエム」スタッズイヤリング ©BOUCHERON

コールマン・ドミンゴは、1956年のプライベートコレクションより、バスケット織り模様のリボンクリップ、1946年のプライベートコレクションより、2本のゴールドのロープチェーンを5つのゴールドのチューブ状モチーフで繋いだブレスレットをスタイリングの中心に。「セルパンボエム」のスタッズイヤリングと、中央にグリーントルマリンがきらめく「ファジー レオパードキャット」のリングを身に付けて登場しました。



ミシェル・ヨー ©Getty Images

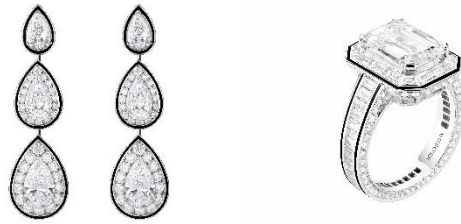


左から「プリュム ドゥ パオン」イヤリング、リング、「キャトル ラディアント」ネックレス ©BOUCHERON

ミシェル・ヨーが選んだのは、しなやかなクジャクの羽根を精巧に再現した「プリュム ドゥ パオン」のアシンメトリーイヤリングと、ラージサイズのリング。ローズカットのダイヤモンドが控えめながらも上品な輝きを放ちます。「キャトル ラディアント」の合計19カラット以上のダイヤモンドが全面にあしらわれたネックレスでスタイルを完成させました。



フェリシティ・ジョーンズ ©Getty Images



左から「ヴァンドーム リズレ」イヤリング、リング ©BOUCHERON

フェリシティ・ジョーンズのスタイルの中心になったのは、プラチナにダイヤモンドを贅沢にセットした、1927年のプライベートコレクションの「アールデコ」ブレスレット。ペアシェイプのダイヤモンドの周りをラウンドダイヤモンドで囲み、さらにブラックラッカーで縁取った「ヴァンドーム リズレ」のペンダントイヤリング、4.10カラットのエメラルドカットダイヤモンドがきらめく同コレクションのリングをセレクト。ダイヤモンドの輝きとブラックラッカーのコントラストがアールデコを彷彿とさせ、スタイルに統一感をもたらします。



マイリー・サイラス ©Getty Images



左から「フロスティ ホワイト」イヤリング、「ヴァンドーム」ブレスレット、「キャトル ラディアント」リング ©BOUCHERON

マイリー・サイラスは2023年に発表されたハイジュエリーコレクション「Like a Queen」より「フロスティ ホワイト」のイヤリングを。手元には「ヴァンドーム」ブレスレットのホワイトゴールドとパヴェダイヤモンドが輝き、レースのグローブの上から「キャトル ラディアント」のリング2種類を着用。



コラリー・ファルジャ ©Getty Images



左から「ロゼ」ネックレス、「セルパンボエム」リング ©BOUCHERON

コラリー・ファルジャは、2018年発表のハイジュエリーコレクション「Nature Triomphante」より朝露が植物をしたたる様子をホワイトゴールドとダイヤモンドで描写した「ロゼ」ネックレス、「セルパンボエム」のXLモチーフのリングを纏って登場しました。



キット・コナー ©Getty Images



「キャトル ブラック」リング ©BOUCHERON

キット・コナーの襟元に輝くのは、1960年のプライベートコレクションからホワイトゴールド、プラチナにダイヤモンドをセッティングしたブローチ。手元には「キャトル ブラック」のダイヤモンドリングをセレクト。



モナ・ファストヴォルド ©Getty Images



左から「キャトル ラディアント」ネックレス、リング、「ヴァンドーム リズレ」ブレスレット、スタッズイヤリング ©BOUCHERON

映画プロデューサーのモナ・ファストヴォルドは、「キャトル ラディアント」のネックレスとリングを。ヴァンドーム広場の八角形をエメラルドカットのダイヤモンドとブラックラッカーで表現した「ヴァンドーム リズレ」の7カラット以上のダイヤモンドをセットしたブレスレット、同コレクションのスタッズイヤリングを着用しました。

1858年にフレデリック・ブシュロンが創業し、一族によって4世代にわたり自由な精神とスタイルが継承されてきたブシュロン。パリ・ヴァンドーム広場にブティックを開いた最初のハイジュエラーとして、ブシュロンは一流のハイジュエリーと高級時計を象徴するメゾンとしての地位を確立してきました。自由で大胆な精神を持つブシュロンの唯一無二のスタイルは、世代を超えて受け継がれ、160年以上の歴史を誇ります。現在、ブシュロンは世界各国で90以上のブティックを展開し、国際的なラグジュアリーグループであるケリングに属しています。